

新型コロナウイルスワクチン接種について

●新型コロナウイルスワクチン住民接種の準備を進めています。

新型コロナウイルス感染症のワクチンをできるだけ早期に、安心して町民の皆さまに接種していただけますよう準備しています。広報やHP、毎戸配布チラシ等で、ワクチン接種に関する情報を提供していきます。

●ワクチン接種の料金は無料です。

ワクチン接種の際、自己負担金はありません。

●ワクチン接種の対象

基本的に住民票のある市町村で接種しますが、やむを得ない事情がある方は、住所地以外での接種も可能です。

***住所地以外でのワクチン接種については、裏面をご覧ください。**

●新型コロナウイルスワクチンについて

現時点では、ファイザー社のワクチンを想定しています。

2回接種が必要です。1回目と2回目の接種間隔は、3週間（21日間）です。



●現時点でのワクチン接種の優先順位と開始時期

開始時期（予定）	条 件 等
4月上旬	高齢者：令和3年度中に65歳以上に達する方 (昭和32年4月1日以前に生まれた方)
以降順次 (高齢者の接種が終了次第、 接種開始予定)	高齢者以外の方 (1) 基礎疾患を有する方（自己申告） *基礎疾患の範囲は裏面をご覧ください。 (2) 高齢者施設従事者 (3) 60～64歳の方（ワクチンの供給量によっては、基礎疾患を有する 方と同時期に接種を行う場合もある） (4) 上記以外の方

●接種までの流れ

区 分	内 容	時期（予定）
高齢者 (65歳以上)	高齢者への接種券等の発送	3月下旬
	電話・メールで予約受付	時期未定
	予約券・予診票の発送	時期未定
	高齢者へのワクチン1回目接種開始	4月以降
高齢者以外の方	高齢者以外の方への接種券等の発送	高齢者の接種が終了次第、 接種開始予定
	電話・メールで予約受付	
	予約券・予診票の発送	
	高齢者以外の方への1回目接種開始	

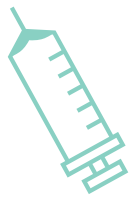
接種会場や予約についての詳しい内容は、次回、3月11日発行予定のチラシをご覧ください。

◆ 基礎疾患のある方とは ◆

基礎疾患のある方は、高齢者の次に接種が開始される予定です。
基礎疾患のある方とは、次のいずれかにあてはまる方です。

(1) 以下の病気や状態の方で、通院 / 入院している方

1. 慢性の呼吸器の病気
2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
3. 慢性の腎臓病
4. 慢性の肝臓病（ただし、脂肪肝や慢性肝炎を除く。）
5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
11. 染色体異常
12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
13. 睡眠時無呼吸症候群



(2) 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

*BMI＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）

*BMI 30の目安：身長170cmで体重87kg、身長160cmで体重77kg

なお、同じ時期に、高齢者施設等の従事者への接種も開始される予定です。

◆ 住民票がある場所（住所地）以外での接種について ◆

●入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方

→ 医療機関や施設・市町村相談窓口にご相談ください。

●基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 → 医療機関や市町村相談窓口にご相談ください。

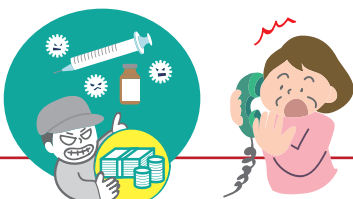
●お住まいが住所地と異なる方 → 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。

コロナワクチンナビでご確認いただくか、

実際にお住まいの市町村相談窓口にお問い合わせください。

◆ ワクチンを受けるには、ご本人の同意が必要です ◆

現在、何らかの病気で治療中の方は、予診票に記載されている「その病気を診てもらっている医師に予防接種を受けてよいと言われましたか」という質問事項に回答できるよう、かかりつけ医と事前にワクチンを受けるかどうか相談しておきましょう。



不審電話に要注意！

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のために必要と語り、金銭や個人情報を騙し取るうとする電話に関する相談が、消費生活センターに寄せられています。市町村がワクチン接種のために金銭や個人情報を電話で求めることはありませんので、ご注意ください。